

2005年3月  
(平成17年)  
No. 23

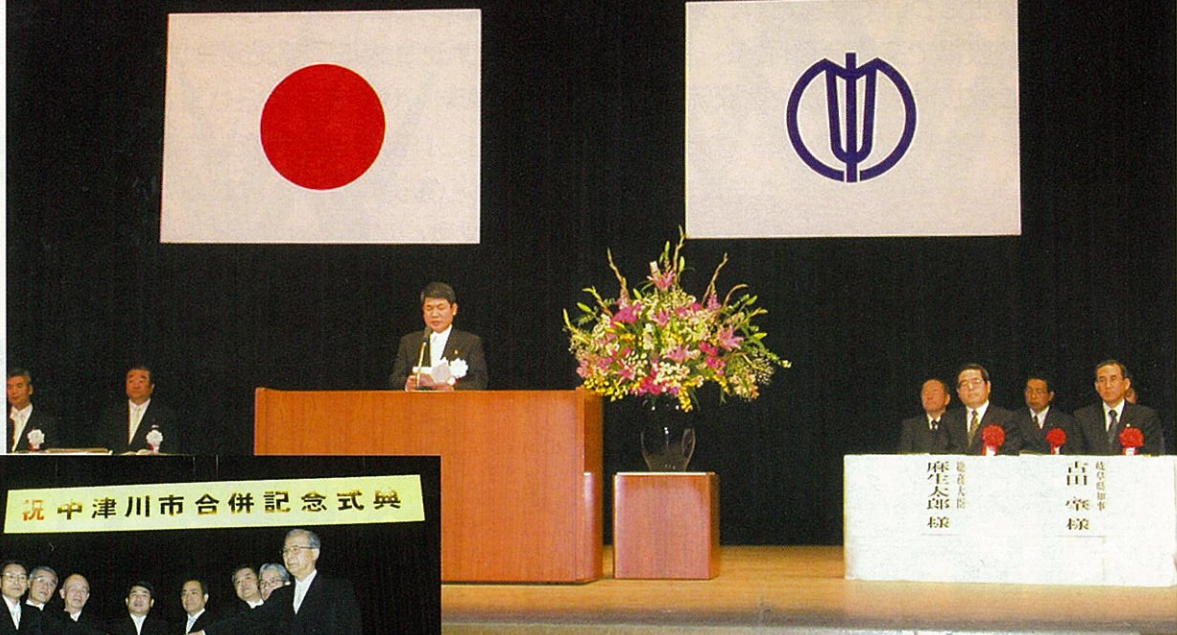
# Amizade

アミザーデ

～姉妹都市協会ニュース～

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会  
〒508-8501 岐阜県中津川市かやの木町2番1号  
中津川市役所 文化スポーツ部生涯学習課  
TEL 0573-66-1111 FAX 0573-65-5795  
e-mail shogai-e@city.nakatsugawa.gifu.jp

## 祝 中津川市合併記念式典



大山市長の挨拶

### 「新中津川市」誕生に レジストロ市からも祝福

2月13日午前8時ごろ、姉妹都市であるレジストロ市在住の山村敏明中津川レジストロ姉妹都市友好協会長から中津川市合併へのお祝いの国際電話が、鈴木嘉進中津川市姉妹都市友好推進協会長宅に入りました。山村会長は、ブラジル時間12日午後7時（日本時間13日午前7時）のNHK国際テレビのニュースで、中津川市合併の報道をご覧になり、「大山市長はじめ皆さまにお祝いを伝えてほしい」とのメッセージをいただきました。



## メルコスール駐日代表 中津川市訪問

6月21日から22日にかけて、メルコスール駐日代表（当時、代表候補）であるナターリア・ガレアーノ・ペレス女史が中津川市を訪問されました。メルコスールとは、財、サービス、生産要素の自由な流通を目指す共同市場（南米南部共同市場）で、1991年にアルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイの4カ国で合意され発足しました。

ナターリア女史はパラグアイ国籍で、メルコスール観光振興促進委員会委員の渡辺 淳二氏（中津川市姉妹都市友好推進協会参与）がナターリア女史の日本での世話役をしていた関係から中津川市を訪れたもので、当協会をはじめ民間レベルでブラジルと交流している中津川市の活動を高く評価されました。今回の訪問では、市の国際交流活動について、また観光文化における、日本とメルコスールとの交流促進や振興施策などについての研修を行いました。

中津川駅に到着されたナターリア女史は、渡辺氏とともに大山市長、鈴木協会長を表敬訪問され、中津川市の国際交流について懇談されました。その後、（株）サラダコスモでの視察では中田社長から説明を受け、また国際的な産業交流などについても話し合われました。

視察後には中山道馬籠宿を訪れ、古き良き時代を残し、かつ整備された観光地を堪能されました。明るる22日には、東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール、鉱物博物館、中山道歴史資料館を見学され、地域に根付いた文化やその振興について興味深くご覧になっていました。



## ブラジルに親しむ会「ブラジル交流会」



中津川市在住や市内の企業へ勤務のブラジル出身者と、中津川市民の交流を深めることを目的として、市内サークル「ブラジルに親しむ会」主催の「ブラジル交流会」が11月28日、中央公民館で開催されました。この交流会は毎年行われており、今までに野外バーベキューやパターゴルフ、クリスマス会などで交流してきました。今回は市内在住の4家族が交流会に参加され、ポルトガル語講座生と一緒にブラジルのこと、日本のことなどについて約2時間にわたって歓談しました。

（4ページに「ブラジルに親しむ会」からのお知らせがあります。）



## 岐伯青年親善交流訪問団 来津



ブラジルから岐阜県を訪問していた「岐伯青年親善交流訪問団」の4名が、8月10日から11日にかけて、中津川市を訪れました。

「岐伯青年親善交流訪問団」は岐阜県人ブラジル移住60周年を契機として昭和48（1973）年度から始まり、各地の視察研修、青年同士の交流等を通じて、国際的視野の拡大や国際協力精神をはぐくむことを目的としており、今年度で32回を数えます。今回の訪問団では、ブラジル在住の杉村喜彦 フラビオさん、瀬古 ジョーゼ エンリケ ドアルテさん、土田 靖司 エドアルさん、青山 千代子 エロイザさんが参加しました。

中津川市姉妹都市友好推進協会では、市役所を訪れた団員の皆さんに、大山市長、鈴木協会長が歓迎の挨拶を贈り、市の概要や市とブラジルの交流について、スライドによる説明をいたしました。

一行は夜明けの森レジストロ公園内で記念植樹を行ったあと、鉱物博物館、苗木遠山史料館で中津川市の自然や歴史について学習され、茶会など日本の文化にも触れられました。

夜は、ふれあい牧場で交歓会を行い、「中津川インターナショナルワークショップ」や市内サークル「ブラジルに親しむ会」の方々と交流を深められました。



訪問団の皆さんと大山市長、鈴木協会長



レジストロ公園にて記念植樹



苗木遠山史料館を見学



ふれあい牧場で交歓会

## ～一度足をお運びください～ 《ブラジル日本移民資料館》

愛知県犬山市にある明治村に「ブラジル日本移民資料館」があります。この建物は、大正6（1917）年にサンパウロ州レジストロ市に入植した久保田安雄さんが建てた家でした。明治村へ移築した経緯を、明治村学芸員の中野裕子さんが話してくださいました。

昭和40年代後半、当時の谷口明治村館長が、明治時代の人々の気骨を示す資料を検討しており、その代表がブラジル移民であると考えました。そして、明治村へのブラジル移民の家の移築を模索する中で、当時のブラジル日本文化協会に依頼し、久保田氏の家の寄贈を受けました。移築後、明治村開村10周年の昭和50（1975）年3月、ブラジル日本移民資料館として公開され、現在に至っています。

久保田氏は長野県に生まれ、結婚後23歳で渡伯、3年後にこの家を建てられました。

移築時に一部改修され、屋根を瓦葺きにし、二階にあがる外階段が別につけられています。

館内では、久保田氏に関連したパネル、当時の農耕機具、移民船笠戸丸に関係した模型などを展示しています。

なお、中津川市は、移築から5年後の昭和55（1980）年8月にレジストロ市と姉妹都市の提携を行いました。



ブラジル日本移民資料館外観



久保田安雄さんご夫妻

### 【中津川市姉妹都市友好推進協会】

中津川市姉妹都市友好推進協会では、平成17年度の会員を募集しています。会費は次のとおりです。

個人 1口 1,000円

団体 1口 5,000円

法人 1口 10,000円

申込用紙は市役所中2階 十六銀行中津川市役所派出所または各地区の公民館、コミュニティセンター、地域総合事務所にあります。

多くの皆さんにご入会いただきますよう、よろしくお願いします。

問い合わせ先

中津川市姉妹都市友好推進協会（中津川市生涯学習課内）

電話（0573）66-1111（内線679）

### 【ブラジルに親しむ会】

市内サークル「ブラジルに親しむ会」では、姉妹都市レジストロ市のあるブラジルについて知識を深めています。興味のある方、公用語であるポルトガル語を学びたい方は、気軽にご参加ください。

問い合わせ先

ブラジルに親しむ会 小川 琴子

電話（0573）67-2973

